

和歌山県公立大学法人評価委員会による評価結果の 反映状況

令和 8 年 7 月

公立大学法人 和歌山県立医科大学

第3期中期目標期間における業務実績に関する評価結果の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における 同一指摘状況
1	第1-1 令和5年度の新卒者における医師 国家試験合格率が87.9%と中期計画 で定める目標値(96%)を大きく下回 っており、その要因についての分析内 容を踏まえ、学生個々の実情を積極的 に把握し、より効果的な対応を講じら れたい。	進捗状況管理書、計画8番参照 【医学部】	
2	第1-1 令和6年度から大学院医学薬学総 合研究科を開設するにあたり、シンポ ジウムや広報活動等により入学志願 者の確保を図ったが、令和5年度にお いては修士課程の定員14名に対して 入学者は6名、博士課程の定員42名 に対して入学者は34名と依然として 定員を大きく下回る状況が続いてい るため、入学者確保につながる抜本的 な対策を検討されたい。	進捗状況管理書、計画9番参照 【医学薬学総合研究科】	R4 評価 見込評価 R3 評価 R1 評価 H30 評価
3	第1-1 大学院医学研究科の博士課程入学 者の大部分が社会人学生で長期履修 制度を利用しているなどの現状にお いて、これまでも課題とされてきた大 学院生における十分な研究時間の確 保や修学環境・体制の充実が図られて いるかを改めて実態調査し、大学院教 育・研究体制のあるべき方向性を検討 のうえ、課題解決に向けた積極的な取 組を講じられたい。	医学薬学総合研究科の開設にあたり、仕事と学問を両立し、学修・研究に専念できる 環境の整備や学位取得に係る支援体制の充実が重要と考え、制度の見直し等に取り組ん できたところである。令和6年度から、すべての講義において、リアルタイムでの遠隔 配信を導入することにより、仕事等のため大学に来られない学生や遠方の学生が職場や 自宅で講義を受講できる環境を整備するとともに、長期履修制度の対象者の拡大や申請 時期の見直しにより、より利用しやすく、研究時間の確保につながる制度に改善を行っ ている。令和7年9月の医系プログラム分科会において、研究科長から各所属長に対し て、大学院生が学修・研究に専念できる時間を確保できるよう所属内で配慮いただきたい 旨を周知した。 実態調査については、大学院生を対象に、令和7年度(令和8年3月)に実施した。課題 の分析及び取組の検討については、令和8年度に行う予定である。 【医学薬学総合研究科】	見込評価 R3 評価 R2 評価 R1 評価 H30 評価

4	第 1－1 競争的資金への応募率について、令和 5 年度においては 84%と中期計画で定める目標値の 100%を下回っている。研究基盤を活性化するために、研究体制・環境の充実を図るとともに、各教室及び研究者個人の研究業績の評価に向けた具体的な取組を検討し、医学部基礎系の研究推進に関する積極的な対策を講じられたい。	競争的資金への応募率向上に向け、公募情報や URA、研究活動活性化委員会委員による支援について各所属あて通知するとともに、教授会で周知を行っている。また、科研費に応募しなかった理由についてアンケート調査を行うとともに、アンケート調査実施時に URA 等による支援について改めて周知を行い、次年度応募を促している。 ＜参考＞ 競争的資金（科研費）への応募率（全体） 85.5% （前年度 83.0%） うち医学部基礎系講座 100% （前年度 96.2%） 研究業績の評価に向けた取組については、従前から実施している顕彰（次世代リーダー賞等）の審査方法の見直しを研究活動活性化委員会において検討しているところである。 医学部基礎系を含む全体の研究推進のため、ニーズの高い研究機器の共同利用施設への導入・更新を毎年行っている。 【研究推進課】	R4 評価 見込評価 R3 評価 R2 評価 R1 評価
5	第 1－1 研究成果の民間事業者等への技術移転について、令和 2 年度において特許を持つマウスピース用吸引具の民間技術移転を 1 件実施した。更に令和 5 年度においても民間企業との共同研究による発明について、1 件技術移転を行っているが、中期計画で定める目標値（6 件）を大幅に下回っているため、技術移転を実現していくために、研究基盤である研究体制・環境の充実、医学部基礎系の研究推進について検討されたい。	進捗状況管理書、計画 58 番参照 【研究推進課】	R4 評価 見込評価 R3 評価
6	第 1－1 県内における安定した医療提供体制を堅持するため、様々な取組を実施しているが、県内における医師の地域偏在、診療科偏在の解消に向けて、地域医療機関からの医師派遣要請に対して大学内で一元的に取りまとめたうえで、各講座から適正な医師派遣を実施する体制を構築するなど、県及び地域の拠点病院等と連携のうえ、更なる積極的な対策を講じられたい。	進捗状況管理書、計画 63 番参照 【地域医療支援センター】	R4 評価

7	第 1-1 令和 4 年度までの各年度における財務状況は良好であるが、物価の上昇などの影響もあり、令和 5 年度は経常損失を計上した。今後も厳しい経営環境が続くことが想定されており、今後の財務改善の道筋を具体的に定めたうえで、経費の抑制や寄附金の一層の獲得に努められたい。	進捗状況管理書、計画 80 番～82 番参照 【経営企画課】	
14	第 2-1-(3) 待合番号表示アプリの導入や健康管理に関するビデオ配信により、待ち時間による患者の負担感の軽減を図っていると同時に、「診療時間短縮を検討するタスクフォース」を立ち上げ、診療待ち時間を短縮する取組に対し評価する一方で、診察待ち時間の満足度調査については、中期計画で定める目標値（18.0%）を中期計画期間中達成することができていないため、画一的な対応ではなく、各診療科の実情に応じた対策を検討されたい。〈附属病院本院〉	進捗状況管理書、計画 29 番参照 【医事課】	R3 評価 R2 評価
15	第 2-2-(1) 採用臨床研修医の研修終了後の県内定着率について、令和元年度では 90.4%と中期計画で定める目標値（89.1%）を上回るとともに、令和 4 年度までは 80%台後半以上の高い水準を保っていたが、令和 5 年度においては、75.9%と目標値を大きく下回ったことから、県内定着率が改善するよう対策を講じられたい。	進捗状況管理書、計画 51 番参照 【地域医療支援センター】	

評価委員会による令和４事業年度の業務実績に関する評価結果の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における 同一指摘状況
4	第１－１ 令和４年度の離職率（派遣除く）は、年度計画で定める目標値 5.5%に対して、実績値は 8.9%であり依然として目標値と実績値が大きく乖離している状況である。新型コロナウイルス感染症による全国的な影響でもあるが、看護師の離職率、特に、看護師として働き始めた初年度の離職率が高いことは問題である。法人全体として詳細な要因分析を行ったうえで、外部の専門家等の意見も参考に有効な対策を講じられたい。	進捗状況管理書、計画 75 番参照 【総務課】	見込評価 R3 評価 H30 評価

評価委員会による第３期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果（平成 30～令和 3 事業年度）の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における 同一指摘状況
11	第２－１－（３） がんや認知症に関して、大学として具体的な目標設定を定め、アウトカムをどのように評価していくかを検討されたい。また、和歌山県全体を俯瞰して、貢献目標及びアウトカムの評価手法についても検討されたい。	がん診療に関しては、重症がん患者や難治性がん患者等にも数多く対応していることから、「患者の予後の改善」という視点における適切な評価が難しく、引き続き、適切な評価方法について検討する。 【経理課】	

評価委員会による令和3事業年度の業務実績に関する評価結果の反映状況

No.	指摘事項等	評価結果の反映状況	過年度における 同一指摘状況
16	第2-4-(2) 外部研究資金の更なる獲得を目指すとともに、プロジェクトを精査したうえで、クラウドファンディング等の手法も積極的に取り入れ、外部資金の獲得に取り組まれない。	クラウドファンディング事業については、令和7年度から学内において対象事業の募集を開始し、応募のあった1事業（地域におけるパラスポーツ医・科学支援事業）について青洲基金運営委員会の承認を経て、クラウドファンディングを実施した。結果として、目標金額である5,500千円を大きく上回る8,927千円（148件）の寄附を獲得した。 【総務課】	